



『父の教え』

校長 山本 達也

ずいぶん前に亡くなった私の父との幼い時の思い出だが、今でもずっと忘れないことがある。

私の父はよくたばこを吸っていた。今では喫煙者は肩身の狭い思いをしてたばこを吸っているが、当時はまだ、健康被害だとか嫌煙権だとかという言葉すらなかった時代である。私の父は文字どおりのヘビースモーカーで自宅の灰皿が毎日、吸い殻でいっぱいになるほどだった記憶がある。

ある時、父と私が居間でテレビを見ていた時の出来事である。ちゃぶ台を挟んで横になってくつろいでいる私(年長か小学1年生頃だったと思う。)に向かって父が、「おい、そこにあるたばことってくれ。」とさほど強い口調でもなく言った。私はすかさず言われたとおり、父に近くにあったたばこの箱を差し出した。その時はどちらかという父の役に立ったという気持ちでいた。すると、父がすかさず、「達也、こっちを向いて座りなさい。」と少し真剣な声で言った。私は褒めてもらえると思っていたのに、予想とは違う父のその態度に困惑した。「達也、よく聞け、お父さんはたばこを吸いたくて、お前に近くにあるたばこをとってくれと頼んだ。確かにお前は言うとおりにたばこをとってくれた。でも、これでは用は足りない、たばこ言ったら吸うためにマッチと灰皿が必要だ。わかるか?『一を言ったら十を知れ!』と言うことだ。人の言うことに先を読んで行動することが大事だ。よく覚えておけ。」と言われた。その時の出来事や言葉はこの年になっても昨日のこのように鮮明に覚えていて今でも忘れられない。

今の御時勢、父親がそんなことを頼めば、「いやだ。」とか「たばこ吸っちゃだめ。」なんて言われるかもしれないが、当時の私には「なるほど、そうなんだ。大人になるために大切なことを教えてくれたんだ。」と父に対して尊敬の念を抱いた。今でも大切なことを時折々に教えてくれた両親に感謝している。

その時の私の行動は、父に言われたとおりを真に受けての素直な行動であった。私は『父の教え』で、それ以後「忖度」することを覚えたが、(ちなみに「忖度」を辞書で調べると、「他人の心情を推し量ること、また、推し量って相手に配慮することである。」とある。)自閉症スペクトラム障害の子どもたちにとってはなかなか厄介なことである。自閉症スペクトラム障害の子どもに



限らず、発達年齢がまだその年齢に達しない子にとっては、難しいことなのである。それを言葉や道理で教えようとするのは、私たちが日々、接している子どもたちにはそぐわないことである。

本庄特別支援学校で学ぶ子どもたちには、『父の教え』ではなく、『先生の教え』として専門性高く、さらに、父母のような温かい愛のある気持ちで接してほしいと先生方をお願いしてきました。その中で、卒業生だけでなく、本校の子どもたちは小中高の学部を問わず、先輩や同級生、時には下級生に励まされながら、この一年間、思いやりや「なかま」を想う気持ちが芽生え、それぞれの力を発揮してきました。保護者の皆様には本校教育活動への深い御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。また、地域の皆様には、ボランティアやゲストティーチャーなど多くの教育活動の場で御支援、御尽力を賜り誠にありがとうございました。今後とも、「地域とともにある学校づくり」を進め、共生社会の実現に向けて御協力いただけますようお願いいたします。

本日、高等部26名が卒業し、社会に巣立っていきます。また15日には小学部14名、中学部22名が卒業を迎えます。卒業おめでとう申し上げます。卒業生の保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとう申し上げます。心よりお祝い申し上げます。

日	曜	平成31年 4月 行事予定
1	月	春季休業日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	始業式(2校時) 短縮 11:30 下校
9	火	短縮 11:30 下校 入学式(14:00-) 小学部保護者懇談会(小1 除く)
10	水	身体測定(高3) 短縮 11:30 下校
11	木	身体測定(高2) 短縮 11:30 下校
12	金	給食開始 身体測定(高1)
13	土	
14	日	
15	月	身体測定(中)
16	火	内科検診(小・中) 交通安全教室(自転車のみ)
17	水	身体測定(小高)
18	木	身体測定(小低) PTA 新旧理事会
19	金	離任式(午後) ふれあいデー
20	土	
21	日	
22	月	家庭訪問期間(～26日) 視力検査(高3) 尿検査1次
23	火	内科検診(高) 小低遠足
24	水	視力検査(高2)
25	木	小低遠足予備日 視力検査(高1)
26	金	小高遠足 視力検査(中1)
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	国民の休日

